

## 第39回 成瀬高校合唱祭報告♪

合唱祭委員会・生活指導部



4年ぶりの開催となった今回の合唱祭は、合唱祭委員をはじめクラスのパートリーダー・指揮者・伴奏者、そしてクラスの一人一人が互いに仲間を信じて想いを一つにして歌い、笑顔で終わった素敵な合唱祭でした。一人一人の努力と健闘を称え、大きな拍手を送りたいと思います。



### ♪1-1『My Own Road』 指揮：鈴木 稀大 伴奏：辻 優吹

・クラスごとに雰囲気が全然違い、まとめる側が変わるとこんなにクラスの個性が出るのかと思いました。放課後の合唱祭練習のときに部活に行ってしまったたり、ほかの用事で集まれなかったりしてすごくやる気のある人もいるけれどなかなか練習に集中してくれなかった人もいて練習内容、予定を考えるのが難しかった。服装をそろえるなどできちんとした身なりを整えることができたのはよかった。初めての合唱祭で戸惑うこともあったけれど1組らしい元気で明るい雰囲気でできたので良かったと思います。

### ♪1-2『心の瞳』 指揮：佐藤 晴空 伴奏：大角姫夏

・各クラス、それぞれ自分達なりに声を掛け合って練習していました。指揮者は合唱祭委員に負けなぐらい一生懸命クラスをまとめていました。優勝でなくても、最後は協力して取り組めた合唱祭だったと思います。

### ♪1-3『HEIWAの鐘』 指揮：福原 颯真 伴奏：陽田 万智子

・合唱祭委員さんが最後まで引っ張ってくれたので3位を取ることができました！！クラス替え前の最後の思い出になりました、最高でした。

明るく優しい仲間が多く、練習開始からパートリーダー達を中心に、真面目に練習してくれて、とても助かりました。本番が近づくに連れて、日々声量も技術も成長していて、凄く嬉しかったし、達成感がありました。本番は、直前までは皆緊張している様子でしたが、歌い始めると持ち前の明るさで、今までで1番いい合唱にすることができました。3位という順位を取れて、本当に嬉しく、誇らしいです。ありがとうございました。

・授業がリモートになって練習期間が縮んでしまったり、分からないこともたくさんあって上手くいくか不安でしたが、みんなの協力の甲斐あってたのしい合唱祭にすることができて本当に良かったです。

### ♪1-4『正解』 指揮：海野 みそら 伴奏：沖田 結

準備の時にあまり参加しない人がいました。しかし、本番ではしっかり歌えていたので良かったと思いました！練習に積極的に参加していたらきっと賞も獲れたと思います。

毎日の合唱祭練習を通してクラスの人たちの団結力が一気に高まって、賞は取れなかったけどとてもいい思い出になったし、クラス替えが寂しく感じた。



♪ 1-5『虹』 指揮：藤田 あゆみ 伴奏：西山 乃愛

・なんとか合唱祭が終わりホッとした気持ちがあります。合唱祭嫌だなど思う人も一緒に頑張ってくれて、本当に嬉しかったです。各パートごとに「ここがダメだね」「この盛り上がりがイマイチだな、」と話し合ったり、全員合唱を何度も動画で撮って、みんなで聞きました。最後の最後まで改善点を見つけ、ベストを尽くそうとした1年5組の全員大好きです！！部活もあるのに放課後まで残ってくれてありがとうみんな！とっても楽しかったです！私のなかでは5組大優勝！！

♪ 1-6『証』 指揮：加藤 葉月 伴奏：榎本 悠希

・合唱練習では、たくさんの人が練習に参加しようとしてくれていて、クラスの団結力もあったと思いました。当日ではみんなが良い合唱ができて、優勝したいという思いが強くてとても雰囲気が良かったと思います。合唱祭を通して、多くの人と関わることができ、クラスの練習もしっかりできたので良かったと思います。

♪ 1-7『チェリー』 指揮：丸地 貫太 伴奏：佐藤 未奈美

・今回の合唱祭は成功だったと感じました。なぜなら、自分は一年のクラスしか練習は見られなかったですが、各クラスがしっかりと真摯に練習に向き合う姿勢を見ました。また、当日にも全員がベストパフォーマンスができたのではないのでしょうか。僕は合唱祭を通して、団結することの大事さと同時に、難しさを学びました。



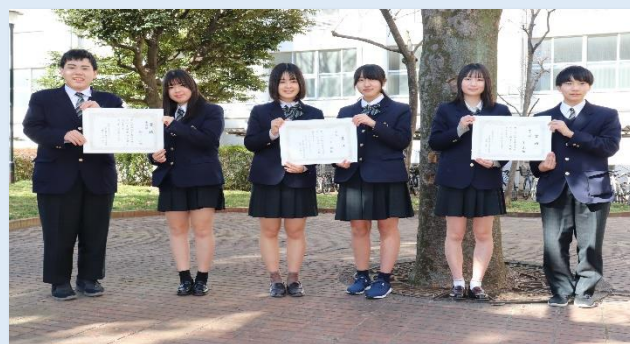
優勝 1年6組



準優勝 2年6組



第3位 1年3組



入賞クラス 合唱祭委員

♪ 2-1『3月9日』 指揮：田原 澄夏 伴奏：櫻井 詩織

・準備が遅くてうまくいかなかったことが多かったが、当日みんながまとまっていて良かった！

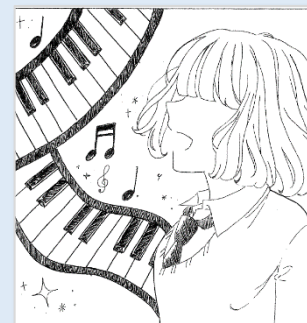


## ♪ 2 - 2『手紙』 指揮：内谷 俊太 伴奏：三土手 大翔

・全員が団結して、創り上げた合唱はどのクラスもとても見応えがありました！！今年度最後の学校行事の合唱祭も体育祭、文化祭に続き、とても達成感のある行事になって良かったです。

## ♪ 2 - 3『あなたへ』 指揮：羽田 直樹 伴奏：米本 遥香

・クラスを盛り上げてくれる指揮者のおかげで、みんながまとまって楽しく練習できた。最初で最後の合唱祭、3組のみんなといい思い出作りが出来て良かった！！



## ♪ 2 - 4『シークレットベース』 指揮：雑賀 大輝 伴奏：喜音家 萌恵

・はじめは中々声が出ず、音楽室で見ていただいたときも1番の初めの方までしか進まない、という状態でした。なかなか乗り気になれない人もいて、不安や焦りもありました。しかし練習が進んでいく中で段々と声が出てきて、本番ではなんとか歌い切ることができました。本当に皆よく頑張ってくれたと思います。他クラスも、どのクラスも頑張ったんだなということが伝わる合唱で、とても楽しんで聞くことができました。最初で最後の合唱祭でしたが無事やり切ることができてよかったです。

## ♪ 2 - 5『COSMOS』 指揮：藤木 郁幹 伴奏：塚本 祐介

・各クラスの合唱が終わる度に、指揮者の人すごく上手だね～だとか、このクラス各パートのバランス良いね～だとか、みんなが全クラスの発表を真面目に聴いて、その感想を口に出して言い合える雰囲気があり、良かったと思います！

## ♪ 2 - 6『モルダウ』 指揮：二又 亮 伴奏：新 亜子

・準備や練習はトラブルが沢山あり大変でしたが、本番では一人一人がベストを尽くしていて楽しかったです。  
・私のクラスでは皆が放課後の練習にも積極的に参加してくれたのでとても助かりました。指揮者の人が良いところ・改善点をすべて把握して練習を進めてくれていたので、質の良い練習ができました。合唱委員の指示も嫌がらず聞いてくれて本当に助かりました！合唱コンを通して仲が深まったと思います。準優勝おめでとう！

## ♪ 2 - 7『信じる』 指揮：須崎 梗貴 伴奏：石川 穂乃花

・練習では全然みんな話を聞いてくれないし、全くまとまらなくてほんとに大変で毎日疲れたし、本番を最後にミスをして入賞できなかったけど、自分がこの役目やり遂げることが出来て良かったです。信じるという素敵な曲をみんなで歌って思い出を作れてよかったです。

## ♪合唱委員長 遠藤 健

みなさん合唱祭お疲れ様でした！今回はマスクの着用をしての合唱で、予定通りの練習は出来ませんでしたが、どのクラスも素晴らしい合唱だったと思います。その裏にはたくさんの努力があったと思います。

練習をする雰囲気ではなかったり、歌の仕上りが足りなかった時、委員やパートリーダー、指揮者伴奏者がクラスをまとめたり、指摘をしたりしてくれました。人に何かを「伝える」ということは、簡単なことではありません。指示を聞いてくれなかったり、時には人を不快にさせてしまったりもします。それらを理解した上で、合唱練習のリーダーをした人達は、この合唱祭を通して、何か大きなものを手に入れたでしょう。人に何かを「伝える」ということは、合唱祭練習に限ったことではありません。体育祭でも、文化祭でも、そして普段の授業でも、起こり得ます。この合唱祭を活かして、これからは繋いでいってほしいと思います。





入賞できたクラスもあれば、残念ながら届かなかったクラスもあると思います。しかしながら、私は入賞したかしていないか以上に、そのクラスの「練習前と本番との差」の方が大事だと思います。合唱祭練習に積極的に参加した人も、部活や勉強、趣味など、そして合唱練習などを通じて、充実していた！と感じられた人はどれほどいるのでしょうか、きっと充実していた人は、将来「私の高校生活は楽しかった」と思えると思います。これからも、充実した高校生活にできるように頑張っていきましょう！

※当日の思い出。委員長としてずっと裏方にいたので、ホールの赤い座席に座ってみたかったです。

### ♪校長挨拶 高野 修一（抜粋）

みなさんの合唱を聞きながら、とても晴れ晴れとした気持ちになったり、さわやかな風を感じたり、胸が熱くなったりと、素晴らしいひと時でした。

一つの歌を完成させるまでには、各クラスいろいろなことがあったと思います。「練習の集まりが悪い。」「委員の気持ちをわかってくれない。」など。その際、一つ心に留めておくといふことを紹介します。それは、「一人、一人、大切にしているものは違う。」という、ごく当たり前の事実です。合唱祭の練習を例にとれば、ある人はクラスのみみんなで一緒に練習をすることをとても大切なことだと考えている。その一方で、ある人は部活動を何よりも大切にしているかもしれません。また、ある人は自分の夢の実現のために勉強時間を確保することを最優先に考えているかもしれません。

そういう人たちが、自分の時間を割き、集まって、今回のように合唱を創り上げていくということは、本当に大変なことだと思います。ただ、その大変なことをしていく際に、「お互いに大切にしているものは違う」ということをいつも心のどこかに置いておけたらと思います。そして、大切にしているものがそれぞれ違う人たちがとも共に集い、協力して、一つのもの、合唱を創りあげるといふことに、何かとても大きな意味があるのではないのでしょうか。このようにみなさんの合唱には、実にさまざまなドラマが「隠し味」になっているのだらうと思ひながら、合唱を聞かせてもらいました。



### ♪音楽科より 小中 慶子

短期間ながら、みなさんがひたむきに努力した形跡がよく伺われる演奏でした。言葉（＝歌詞）や音が限定され、様々な考え方や感じ方が飛び交う中で、1つのまとまった音楽を作り出すことは本当に大変ですが、同時に合唱祭は、「集団でしか作り出せない表現」を経験する場でもあります。この経験を経たみなさんの、今後の一層の成長を期待しています。

